

まちの話題

島木家庭の日

第56回の島木家庭の日が2月14日、島木農村環境改善センターで開催されました。島木出身で熊本赤十字病院名誉委員長の松金秀嶋さんの講演のほか、中島小児童の作文発表、島木へき地保育所園児のお遊戯、農地・水環境委員会による活動発表などがありました。



講演する松金さん

通潤橋がより映えます

みなさんお気づきになりましたか？通潤橋横の竹林がきれいになってきていることを。JA上益城のたけのこ部会（丸山啓一会長）の役員のみなさんが、竹林の整備を行いました。丸山会長は「観光客はもちろん、町民としても通潤橋を美しく見たいという思いから始まった。管理した竹林はこんなにきれいになるということも知ってもらいたい」とPR。昨年に続き行われた今回の作業で整備は終了し、美しい竹林が通潤橋をさらに引き立てています。



鐘のなる学校

旧朝日小学校に教室の始まりを告げる鐘の音。2月27日朝日自治振興区未来部が「鐘のなる学校」を開きました。旧校舎の利活用を進めている未来部では毎年1度利用者と地域の方々の交流会を企画しています。音楽、ハイキング、パソコン教室、給食など4時間目まで企画された鐘のなる学校。2時間目に行われた合気道教室では、吉川勲さんが指導する「夢創塾」の生徒が迫力の演武を披露。和の武道といわれる合気道を地域のみなさんに紹介しました。「夢創塾」は旧朝日小で毎週水曜日午後7時から合気道教室を開いています。



島木へき地保育所 50周年記念式典

島木へき地保育所が今年開設50周年を迎えました。晴天に恵まれた2月28日、それを祝う式典が100名を超える出席者のもと盛大におこなわれました。式典に先立って行



われた記念植樹では、在園する10名の園児たちがハナミズキを2本植樹しました。島木へき地保育所では今年3名が卒園を迎えます。在園児は7名となり、現在、新入園児を大募集中です。

愛林駅伝競走大会

2月20日に行われた、第55回を迎えた愛林駅伝競走大会。町内の3中学校と郡内3中学校から9チームが参加、千寿苑周回コースで健脚を競います。序盤は蘇陽中がトップでレースを進めましたが、3区で甲佐中が逆転。甲佐中はその後5区間連続で区間賞を取るなど他を圧倒。2年連続の優勝を飾りました。町勢では蘇陽中Aの4位が最高でした。



号砲とともに一斉にスタート

大型機械で簡単間伐

柏地区の林業者30名で組織された「柏青年の山研究会」（佐藤功一代表）が阿蘇森林組合蘇陽支所とともに間伐機械のデモンストレーションを行いました。約40年前から同研究会が管理する山林（1ha）内に一台のショベルカー。それには間伐専用の機械が取り付けられています。雨のなかでの作業となりましたが、枝払い、測尺、玉切りを一度に行うその作業能力を参加者の前で披露しました。



老人クラブ 蘇陽支部大会

2月22日、蘇陽総合支所営農ホールで第5回の老人クラブ連合会蘇陽支部老人大会が開催されました。300人を越える参加者が詰めかけた会場では、舞踊やカラオケなどのアトラクションが行われ、蘇陽支部はもちろん、矢部・清和支部からも出演があり、熱気に溢れていました。

大会では、県老人クラブ連合会会長表彰の伝達式も行われ、菅尾東部老人クラブ会長佐藤俊雄さん、滝上老人クラブ、菅尾西部老人クラブが表彰を受けました。



舞踊やカラオケが次々と披露されました。

学校保健委員会

山都町学校保健委員会の研修会が2月18日に清和基幹集落センターで行われました。町内の学校保健に携わる方々で組織されているこの保健委員会。潤徳小での生活習慣病予防に対する取組、菅尾小での歯科指導、蘇陽小での薬物乱用防止についての取組が紹介されました。そのあと「今必要な薬物乱用防止教育のあり方」と題して、蘇陽中・蘇陽小・菅尾小の学校薬剤師である、まこと薬局の木山誠さんの講演が行われました。



取組事例の発表

浜B地区ふれあい餅つき大会

2月28日、浜B地区の世代間交流事業を兼ねた「ひな祭りふれあい餅つき大会」が行われ、会場となった矢部小の



駐車場には、地区内のお年寄りから子どもまで110名の賑やかな声が響きました。今年で4回目となるこの餅つき大会、各組で右うす・きねを準備し、紅白の菱餅、あんこもちを作ります。出来上がった餅はみなさんお持ち帰りされました。

小さい子も一生懸命餅つき